

「傘 軍 団」

野良傘の軍団が今日も話し合いをしている。

立派な話し合いではない。

退屈を紛らわせるためだけの話し合いなのだ。

ちなみに、軍団のことを「シンカ」などと言う場合もある。

軍団にもグループがある。

1号棟軍団、2号棟軍団、3号棟軍団、そして職員室前軍団。

中にはある教室の片隅でたむろしている軍団もある。

さて、彼らの話を聴いてみよう。

「オレニ ショッチュウ ヨリカカルナ」
「オレモ ヨリカカラレテ イルンダケド」
「ダレガ ワルイバー」
「ワカラン」



「アミー フラナイカラ オイテケボリ」
「アミー フラナイカラ ホッタラカシ」
「アミー フラナイカラ シランカオ」
「ワカッタ アメガワルイ」

「アメハ ワルクナイバーヨ」
「アメガアルカラ カサガル」
「アメノトキハ ウレシイサー」
「カサハ アメガイノチ」

「ジャー ダレガワルイ」
「ミンナ ワカッテルバーヨ」
「ジャー イイナサイ」
「イッたら アファーヤッサー」
「ソレデモ イイナサイ」
「中学生」

このような話し合いで今日一日が終わろうとしている。

また明日、同じような話し合いがあるのであろう。

「コウチョウセンセイノ カサガ ヌスマレタッテ」
「コウチョウセンセイ デーヂ オコッテイタヨ」
「オコルノハ アタリマエサー」
「アタリマエノ コトガデキル コウチョウセンセイハ エライサー」
「アタリマエノ コトガデキナイカラ オレたちハ ココニイルバーヨ」